

さんぽ通信

京丹波町瑞穂保健センターほほえみ2F
開所日：月～金曜日（祝日休み）
A m 9 : 0 0 ~ P m 5 : 0 0
年末年始の休み 12/29～1/4

冬があり、夏があり、昼と夜があり、
晴れた日と雨の日があってひとつの花が咲くように、
悲しみも苦しきもあって私が私になっていく

（星野富弘 詩文集より）



何を作ろう？

陶芸を楽しみました うまくできるかな？

5/31(水)、陶芸家の岡田保博さん、八重子さんにご指導いただき、陶芸教室をしました。岡田さんに作りたいもののイメージを伝えると、それぞれに合ったやり方を丁寧に教えてもらえて、思い思いの作品を作っていました。

ひんやりとした土を
触るのは心地よく、無
心で楽しみました。



どんなふうに焼き
あがるかな？
ワクワク！



—5月のチャレンジ—

つまみ細工で紫陽花づくり

三角に折ったちりめん生地を
あじさいの形になるように、貼
り付けていきます。ブローチや
キーホルダーなど、可愛いアク
セサリーができました。



細かい作業も根気よく



7月のチャレンジ!

-音のならない風鈴-

涼し気で可愛い金魚の風鈴を
作りましょう

参加費：100円



「第4回障害者に関する交流会」を開催しました

5/26(金)、「ひとりひとり違う障害、だからこそひとりひとりに向き合う大切さ」を
テーマに、第4回障害者に関する交流会を開催しました。民生児童委員の方をはじめ、
29名の参加があり、4人のお母さんに障害のある我が子との生活についてお話をし
ていただきました。



- ★社会に出るにあたって、細かな情報を発信してほしい、
生き生きと仕事ができる京丹波町に。
- ★親なき後、生活していける場所を作ってあげたい。
- ★わが家のテーマは「普通ってなに？」人として大切に思
ってもらえるような環境を…。
- ★ある方に「外に出たがらない時に無理に
出さなくても、その子に合う暮らしなら、
それでいいんじゃない？」と言ってもら
い気持ちが楽になりました。



初めて聞く障害の名前もあり、参加
の皆さんも、熱心に耳を傾けておられ
ました。

今回、お話いただいたお母さん方
から「今までこのような機会がなかつた
ので聞いてもらえて良かった」と言っ
ていただき、「伝える」ことの大切さ
を実感しました。

又、勇気ある生の声を聞かせていた
だき、「知る」ことの大切さも感
じました。



次回は9月に予定しています。

お問合せ先 地域活動支援センターさんぽ ☎・fax 86-0062

Mail sanpo0601@zc.ztv.ne.jp